

お かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお
 かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお
柿生文化
 かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお
 かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお かきお

平成21年2月13日
 川崎市立柿生中学校
 郷土史料館情報・研究誌
 第7号

あ り び と し 知 恵

祖先の故郷「三輪山」を偲んだ柿生の古人

校長 板倉 敏郎

奈良県桜井市に穏やかでなだらかな三輪山がたたずんでいます。麓(ふもと)にある日本最古の神社として信仰を集める大神神社(おほみかみじんじゃ)は、大きな杉の大木に覆われた三輪山そのものがご神体で、本殿はありません。たいへん古い信仰の姿がここには残されているとともに酒の神としても古くから崇拝されています。

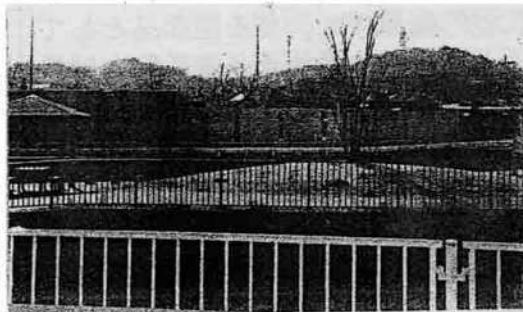
柿生のすぐ隣りに町田市三輪町があります。この周辺には奈良町もあり何となく大和(やまと)の匂いがしてまいります。これらの町を流れる鶴見川流域には、他の地域には見られない「杉山神社」が沢山見られます。この神社は、続日本後記(しよくにほんごき)833年~850年までの(歴書)によりますと承和5年(838年)に「武蔵国都筑郡粉山(すぢま)神社」についての記事がのっています。さらに江戸時代に編纂された「新撰武蔵風土記稿」によると「杉山神社」は72社ありその内、都筑郡に属すものが24社、橘樹郡37社とそのほとんどがこの2郡に集中し、鶴見川



(大神神社の鳥居から、ご神体の三輪山を望む。)

流域、あるいは、それに近い場所にあります。「杉山」という名称からは、杉の大木に覆われた奈良の三輪山を彷彿とさせます。かつて、大和から移住し、この鶴見川流域を開拓したという忌部氏の思いがその名の中に現われている気がしてなりません。

先日、そのようなことを考えながら下麻生付近の鶴見川傍から三輪町方面を眺めますとその山並みが実に奈良の三輪山の姿によく似ている



(遠方に町田市三輪町の山々を望む)

など強く感じました。

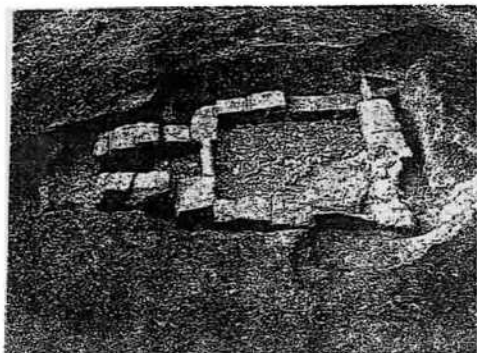
鶴見川流域から眺められる山々のなだらかで優しい稜線を見た時、古人はきっと祖先の心のふるさとに触れたような感動を味わったのではないかと思いました。

柿生には、古代のロマンを思い起こさせる何かがあります。遠く千数百年前の人々の魂の息吹が私の心に強く響いてきます。



シリーズ「麻生のルーツを探る」— 第6話 —

横穴古墳 有力農民層の出現



(下麻生1号古墳の石室)

麻生区内には、前方後円墳のような大型古墳はなく、円墳が早野、下麻生、上麻生に数基存在する程度です。かつて、そのひとつである下麻生の円墳が発掘調査されたことがありました。場所は、麻生不動の真向い、王禅寺寄りの高台で3基の円墳があり、1号墳は、直径20メートル、高さが3メートル。2～3号墳はそれよりもやや小さめでしたが石室を備え、副葬品は直刀、鉄鏃(鉄のやり)、耳飾り、須恵器(大陸系技術で作られたもので弥生土器より高温で焼かれた)等が出土しました。規模や副葬品から推して

前稿 稲荷前勢力に従属した地域支配者の墓とされました。

麻生周辺の古墳～奈良時代の特徴は、多数の横穴古墳が存在したということです。私も戦前中学生の頃、上麻生亀井原の南麓にあった横穴古墳3基のひとつを発掘調査したことがありました。入り口は、約2メートルで、奥行は、5～6メートル。羨道(せんだう)は横穴古墳内部の中央部と外部とをつなぐ通路と呼ぶ通路があって遺体が置かれた玄室は2メートル四方、高さは、立って歩けました。羨道から玄室まで拳大(こぶだい)の河原石が敷かれました。被葬者の白歯と直刀2振りを発掘しましたが他の副葬は、採取できませんでした。



(亀井横穴古墳・直刀箱を持つのが筆者)

こうした横穴古墳は、谷戸ごとに山の斜面や崖を穿って築造され、通常3～4基が一群で存在し、副葬品は刀剣、装身具、玉製品など比較的豪華で、刀剣を副葬品としていた被葬者は戦闘力も考えられます。6世紀になると稲荷前古墳築造の首長勢力は徐々に衰退していきます。支配の力関係や農業生産力の向上もあって、7～8世紀頃にはこの地方に武力を備えた有力農民が存在したことを物語っています。

昭和47年、早野の横穴古墳から、馬や人を描いた線刻画が発見され話題を呼びました。当初、地元では、いたずら書きの説もありましたが、三輪の玉田谷戸、能ヶ谷のカゴ山古墳から同様なものが発見され、平成4年川崎市が王禅寺の白山横穴古墳を発掘したころ、奥壁面と東西壁面に、人物、馬、建物、弓矢などが描かれていました。



(早野横穴古墳の線刻画)

こうした事例で早野の線刻画も明らかに後世のものでないことが証明されましたが、興味あるのは描かれている人、馬、建物の図柄で、この頃この地方には馬が飼われていたこと、建物は、竪穴住居から掘立様式に、人物の特徴は、逆三角形の立派なあご髭(あごひげ)が描かれているそうです。

文、小島一也氏

※参考 「ふるさと川崎ぶろむなあど」(村田夫 著)

多摩・町田の民権運動

川崎市柿生中学校教諭 堀田美枝子

明治維新から 10 年あまり、明治政府は、公儀世論政治（政治の重要問題はみんなで話し合
って決めること）の実現や立憲政体（憲法に基づいた政治形態）の採用を約束していましたが、
国民には政治参加の権利を認められていませんでした。憲法もなければ、国会のない。
というのが国民の置かれた状況でした。しかし、国民には、租税負担や兵役の義務が
課せられていました。自由民権運動の中心の柱は、憲法を立て、国会を開いて国民の
政治参加の権利を保証し、欧米諸国の文明から遅れている政治のしくみを打開する政
治運動・民権運動でありました。また、参政権を行使するためにはそれにふさわしい
政治意見をはぐくむことが大切です。三多摩（西多摩・北多摩・南多摩）は 1893 年まで、
神奈川県に属していました。柿生を含む多摩はその拠点となった地域です。1878 年、
明治 11 年につくられた「責善会」の規則では、「親戚かどうか、大人か子供か、尊い
か卑しいかに関係なく討論すること」と書いてあります。仲間なら自由に自分の意見
を言って自分の主張を言って反論するときは正々堂々と言おうということです。あき
る野市にあった五日市学芸講談会のメンバーである深沢権八が残したノートには、次
のようなことが書かれていました。「自由の獲得は知力でやるか、武力でやるか。租税
の良い面、悪い面について。西郷隆盛と大久保利通、どちらがすぐれているか。」など
こうした話し合いの積み重ねが人々の意識を高めていきました。各地にできたグルー
プは、お互いに情報を交換したり、東京や大阪などで会合を開いたりしました。また、
国会を開くように政府に意見書を提出したり、自分たちで憲法を考えて、その案を持
ち寄ろうとしたりしました。そのような憲法の案の 1 つが、あきる野市でみつかった
「五日市憲法」とよばれるものです。そこには、「日本国民は、一人一人の権利や自由
を究極のところまで追究しなければならない。」という条文がありました。国民の権利
について、今の憲法に通じるような条文です。

彼らの学習会の内容がいかに質の高い
ものであったことがわかります。また、全国
規模で取り組んだ国会開設の署名運動でも、
神奈川では、約 2 万 3 5 5 5 人の署名を集め、
元老院に提出しました。明治時代に柿生を含む
多摩地区で自由民権運動にのめり込み同じ考え
を持つ仲間達と共にあつく語り合った人々がい
ました。

町田市野津田の生んだ民権家村野常右衛門は、
1883 年に私財をさいて広さ 66 平方メートルほ
どの文武道場「凌霜館」(右の写真)を建てました。
村野はここに多くの青年子弟を集め、剣術を通し
て身体と精神を鍛え、同時に自由民権思想の学習
を盛んに行いました。現在は町田市の自由民権資
料館として全国の貴重な資料を常時展示しています。



(凌霜館跡の碑)

郷土史料館収蔵品紹介

「御仕置五人組帳」

寛保2年
越後国頸城郡上板倉村



五人組は江戸時代、町、村において年貢納入や治安維持などの連帯責任を負った単位で、五戸前後で構成され全国に組織された。もともと江戸初期にキリシタン取締りや浪人取締りが目的であった。

本校で収蔵の「五人組帳」は、正式の帳簿の下書きとも思われる。内容的には、最初に法令部分と五人組組合員の連印からなる誓約書からなる。

郷土史料館「史料」の寄贈・寄託のお願い

22年に完成する本校の「郷土史料館」に収蔵する柿生・岡上に関する歴史的資料を探しています。ご自宅で保存されている史料(古文書や生活道具類)でお譲りいただけるものや、一時、お貸しいただけるものがございましたらお知らせください。しっかりとした管理体制で収蔵します。よろしくお願いたします。

第10回 柿中カルチャーセミナー

- ・日時 平成21年2月17日(火)午後6時より
- ・会場 柿生中学校
- ・講師 金子 勤氏(郷土史家)
- ・演題 「鶴見川沿いの歴史散歩」

お車でお越しの方は
バス通り側の坂道
よりお越してください

第11回 柿中カルチャーセミナー

- ・日時 平成21年3月12日(木)午後6時より
- ・会場 柿生中学校
- ・講師 中西 望介氏(郷土史家・西高津中学校教諭)
- ・演題 「鎌倉道二戦・交易・信仰二」

※セミナー終了後、懇親会を行ないます。郷土の歴史について語り合います。お時間のある方は、是非ご参加ください。(会費1000円)